

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 さとう保険サービス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		経営理念及び経営目標は事務所に掲示し、常に意識できる環境であり、社員全員での月次会議でも共有し、各種目標の達成に向け実践している。																					17				
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		コンプライアンス方針・規定を策定し、毎月チェックシートによる確認、研修などを定期的に社員全員で取り組み、コンプライアンス遵守体制・仕組みが構築されている。																					16				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		三井住友海上等の研修を社員全員が定期的受講し、不正競争行為に関与しない方針を掲げ周知徹底している。														10								16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		社長・専務の担当領域として、社員一人一人の個性を生かした社内体制を整備している。																						16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		三井住友海上等の研修を社員全員が定期的受講し、知識を高めている。																									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		プライバシーポリシーの掲示を公表している。取扱規程・役割分担表・個人データ取扱者リスト・個人データ管理台帳を作成し、体制を構築している。社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底している。																						16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		お客様や三井住友海上等ステークホルダーとの継続的な対話により、自社が与える影響やあるべき姿について月次会議にて社員全員で議論し、決まった対応策を実践し結果を確認し合う運営をしている。																						16 17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5										8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		地震・水害へのBCPを作成し、社員全員へ共有している。																	9			11		13.1		16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		役員を中心に顧問税理士も含め、代理店の将来ビジョンを明確にし、社内の業務の役割分担を行い、スムーズな事業継承に向け取り組んでいる。																	8		9						17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1		2																	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		三井住友海上等の研修を社員全員が受講等により、差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備し、発生していないことを確認している。																							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		日頃から労災事故防止への注意喚起や社員全員にメンタルヘルス研修を受講させる等、働きやすい労働環境となるよう整備している。																	8.8								
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		給与規程に基づき、公平公正に給与を支給している。																									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		1日あたりの適切な労働時間と適切に休暇取得できるよう月次管理し、社員が家庭と仕事の両立を図れるよう環境整備している。																									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		全社員へ三井住友海上やその他社外研修等積極的に参加させるよう指導し、能力向上へつなげている。それぞれ目標とする資格取得に向け取り組んでいる。																									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		労災事故防止推進やメンタルヘルス研修の受講及び適切な労働時間と休暇取得の管理により、各種業務の生産性向上へつなげている。																								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		三井住友海上等の研修を社員全員が定期的受講し理解を深め、多様な人材を雇用できる体制を整備している。																								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		三井住友海上との会議はリモート(ZOOM)開催をメインとし、また、お客様との保険契約もリモート契約手続きを推進している。																									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		三井住友海上のAI技術を活用し、分析や業務の効率化を図っている。																									
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																												

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 さとう保険サービス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ゴミの適切な分別やエコパックの完全使用を継続実施している。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電気・ガソリンの年間使用量を把握し、それぞれ節電と低燃費走行に取り組んでいる。社内の不要な電気はこまめに消す。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートにより排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		業務活動及び日常生活において、エコパックの使用により、レジ袋などの使用削減に努めている。						6.6							14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		資源ゴミの適切な分別や、お客様へ自動車事故の際はリサイクル部品使用による修理をお勧めしている。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		節水に心がけ、熊本県の水資源保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5		14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		ハイブリット車の使用や省エネ家電・事務機器製品の購入を心がけている。									9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		必要以上の食品・食材は購入しないよう心がけている。残さず食べる。	1	2					6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		地域ボランティア活動により、草地の整備や清掃等の保全管理に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			地域ボランティア活動で海辺の清掃活動を行っている。											12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 さとう保険サービス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		社員教育等により、保険募集ではお客様の意向をしっかりと把握し丁寧でわかりやすい商品説明を行う保険募集の品質向上に努め、保険事故時にはお客様へ安心・満足いただけるよう親切かつスピーディな事故対応が提供できる体制を構築している。			3.9								9		12.4																			
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		特に高齢者への保険募集については、複数回や複数人での募集を行う等、三井住友海上の募集ルール遵守を徹底している。											9.1	10	11.7																		17	
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●		常に県・地元産商品を優先して購入している。		2.3 2.4					7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15														17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7							12.2	13.1		15														
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●					2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15													17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		町内会活動・消防団活動・その他ボランティア活動を通じて、地域社会への貢献活動を積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		当代理店で地震・水害BCP策定による備えや、お客様へのハザードマップの配布等による備えの呼びかけ、また、法人のお客様へは三井住友海上のリスクマネジメントサービスの案内を推進している。				4									11.5		13.1															16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		地域消防団の活動に参加したり、当社入居ビルの消防訓練管理者になっている。	1.5		3	4									10.2	11.5		13.1															17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●													9		11	12	13.1																	
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		当代理店もSDGsに対する理解をより深め実践するとともに、法人のお客様へSDGs経営の必要性を説明し三井住友海上の支援サービス活用をご案内したり、熊本県SDGs登録制度への登録をお勧めしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●											8.6			10.2																			17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		地元出身者の若手採用を積極的に行っている。				4.4						8.5 8.6																					17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●						2			4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15											17		

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。